

経営比較分析表

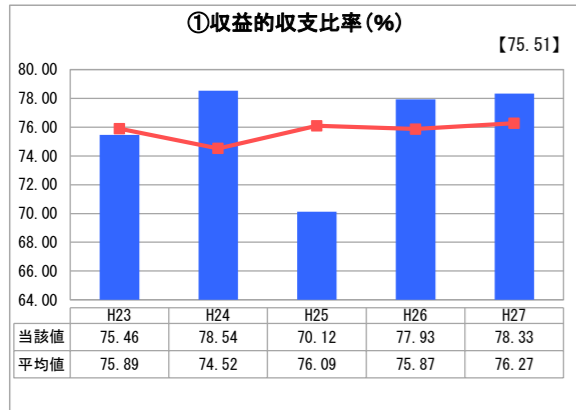
宮崎県 日向市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.06	2,268

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
63,013	336.93	187.02
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,171	16.85	188.19

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



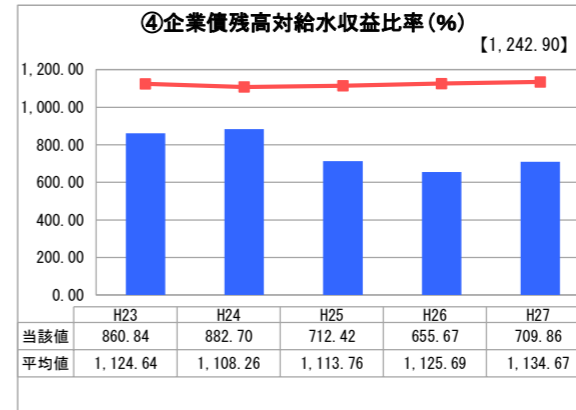
「単年度の収支」



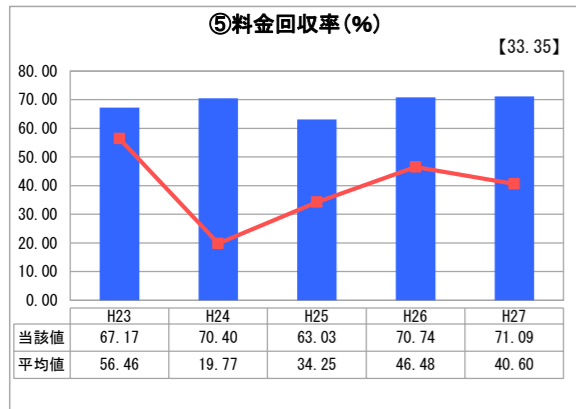
「累積欠損」



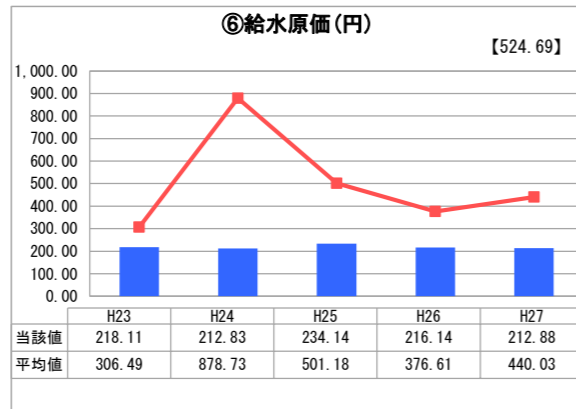
「支払能力」



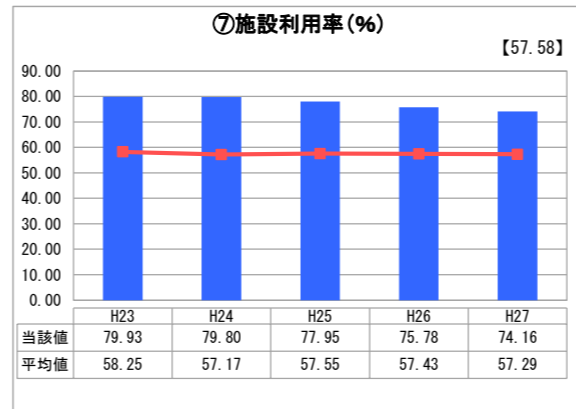
「債務残高」



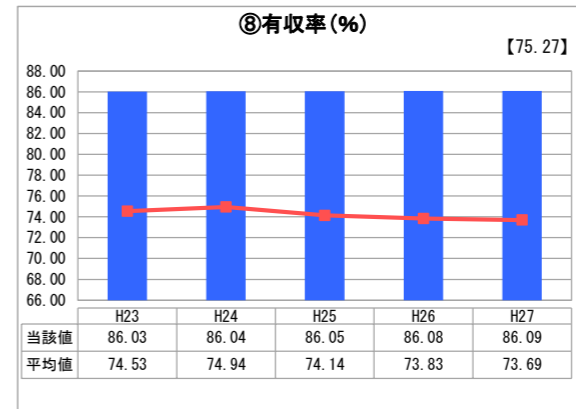
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

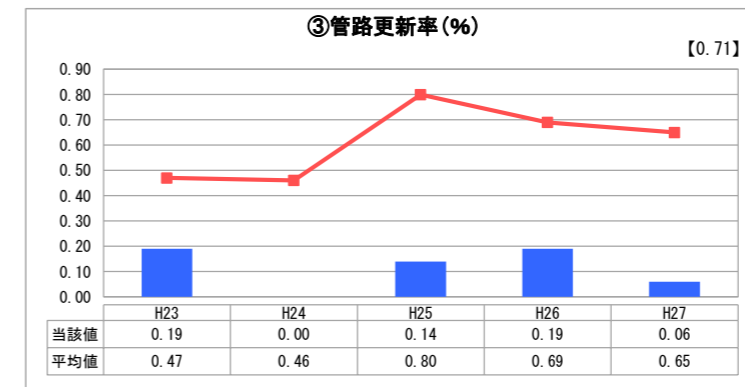
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

中山間地域という地理的条件もあり、「収益的収支比率」は継続して70%台、「料金回収率」も70%前後と、給水収益で費用を賄っていない状況となっているため、今後は更新事業に係る経費の平準化等、経営改善に向けた取組が必要となります。「企業債残高対給水収益比率」については、全国平均や類似団体平均よりかなり低い値で推移しています。「給水原価」については、コスト縮減に努めたことにより類似団体の中では比較的安価となっています。「施設利用率」は、平成24年に認可変更届を行い、利用率の適正化を図った施設があること等により、類似団体平均より高い値で推移しています。「有収率」については、ほとんどの施設が昭和60年代以降に設置した比較的新しい施設であることと、配水量の監視により早期の漏水対応に努めた結果、類似団体平均よりも高い水準を維持しています。これらのことから、これまでは比較的安定した経営を維持していると言えますが、簡易水道統合整備事業や管路更新に伴い、今後需要が増大する費用を賄うためには、他の経費の節減や企業債の借入額の抑制に努めながら、財源の調整を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

「管路更新率」は0.06%と、全国平均、類似団体平均と比較して低い水準にあります。簡易水道施設統合整備事業等の施設整備を進める中で、新たな財源の確保も厳しい状況にあることから、財政調整をしながら、計画的に事業を行う必要があります。

全体総括

全国平均や類似団体平均と比較すると、経営の健全性、効率性ともに安定した経営状態と言えます。一方で、管路更新については、全国平均、類似団体平均を下回る状況となっています。中山間地域等への安定した水の供給のためには、老朽管路更新をはじめとする施設整備が必要となるため、今後は、財源の調整とともに、事業効率を高めるための施設の統廃合を含めた整備方針等、計画的な事業の実施について検討する必要があります。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。